

## ☆各地区会から

鹿児島地区会理事：石元雅広

===耐雪梅花麗（雪に耐えて梅花麗しく）===

この時期になるとこの言葉が頭を過ぎります。鹿児島といえば西郷隆盛。この言葉は西郷さんがイギリス留学する甥に書いた手紙にある詩に由来しています。例年、鹿児島も1月末から2月中旬くらいまでは寒さが厳しく雪が降ることがあります。そして、2月末になると寒さに耐えた梅の花のかぐわしい香りに癒され、間もなく訪れる春に心が躍ります。多くの困難を乗り越えてこそ、大きなことを成し遂げられるという教えは、時代が変わっても今なお私たちに、寒さの厳しいこの時期に元気を与えてくれます。

さて、鹿児島BOB・桜岳会の新年会を1月13日（土）に中原別荘にて開催しました。当日はまるで春のような陽気で、日当たりのよい場所では寒さに耐えていない（？）梅の花が、ちらほらと咲き始めていました。翌日、第41回「いぶすき菜の花マラソン」の来賓として参加される篠崎JTB九州エリア広域代表と、ランナーとして参加される山田JTB鹿児島支店長にも出席していただきました。寒さに耐えずとも美しい花を咲かせる梅に、「菜の花マラソン」の成功を確信しながら楽しんでいただけたことでしょう。今回は東京から2人、福岡、熊本、宮崎からも参加していただき、総勢27名で盛り上がりました。参加された皆様に感謝申し上げます。

やはり一番の盛り上がりは昔話で、失敗やエピソードが次から次へと出てきて、まさに血気盛んな若かりし頃にタイプスリップしたかのようでした。熊本支店の千葉課長の次回開催に向けての力強い締め言葉で、またさらに本会の団結力が高まったと思っています。

当地区会では、今後も会員相互の交流拡大に資する活動を展開して参ります。乞うご期待！

